

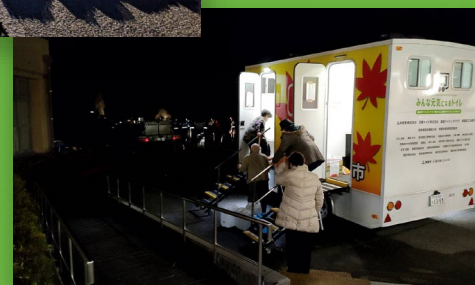


災害派遣トイレネットワークプロジェクト

みんな元気になるトイレ

 広野町  助けあいジャパン

被災時に深刻化するトイレ問題解決のため
広野町は「みんな元気になるトイレ」を導入。
災害派遣トイレネットワークに参加し、
いざという時には、全国の参加自治体が駆けつけ
支援し合う、助けあいの仕組みに加わります。



能登半島地震への災害派遣の様子

「クラウドファンディング」へのご支援のお願い

● 募集期間

令和7年9月1日（月）8:00 ～ 10月31日（金）23:00

● 目標金額

8,000,000円

● 寄付方法

① <https://readyfor.jp/projects/mintore-hironotown>にアクセス

② プロジェクトの寄付にすむ
（※ログインが必要です） から進み、初めての方は はじめて利用する方は新規登録へ で登録後、ご寄付をお願いします。

※ 寄付方法（決裁方法）はお振込み、クレジットカード、コンビニ支払い等でのお支払いとなります。

● 本プロジェクトは、寄付総額が目標金額に届かなくても「みんな元気になるトイレ」導入事業を実施します。

災害時、トイレ問題が深刻化し、せっかく助かった命が危険を強いられます。

- 災害時、停電や断水等によりトイレが使えなくなり、圧倒的にトイレが不足します。
- 劣悪なトイレ環境→トイレ我慢→飲食我慢→体調悪化の連鎖となり、せっかく助かった命が危険を強いられます。
- 熊本地震では、災害死50人に対し、避難生活の心身負担で81人を亡し、「災害」より「避難」で命を失いました。



出典：日本財団



出典：助けあいジャパン



出典：助けあいジャパン

● 熊本地震：関連死の原因と人数

原因	人数
地震のショック、余震への恐怖による肉体的・精神的負担	112
避難所生活などの肉体的・精神的負担	81
医療機関の機能停止などによる初期治療の遅れ（転院、既往症の悪化など）	46
電気、ガス、水道などの途絶による肉体的・精神的負担	14
社会福祉施設などの介護機能の低下	9
交通事情などによる治療の遅れ	2
多量のじん灰の吸引	1
その他（家屋倒壊による外傷など）	15

※熊本県／震災関連死認定者への調査

導入するトイレトラック「みんな元気になるトイレ」とは？

① どこでも使える

4WD、寒冷地対策等、どこへでも移動ができ、給水・汚水タンクを備えているため、到着後すぐに使用することが可能です。



② 快適に使える

通常の仮設トイレは幅90cmに対し、1.5mの広々サイズ。被災地では、お子様の着替え～お年寄りの付き添い、歯磨き、お化粧まで、レストルームとしての役割が必要です。



③ 誰でも使える

洋式の水洗トイレを備えた個室が5室、また最後部は、電動車いすリフター、オストメイト対応設備、おむつ交換台、ベビーキープを備えた多機能トイレ室となっています。



④ 停電でも使える

天井にソーラーパネルを設置、蓄電システムにより、停電時でも使用する電機は自車でまかない、周辺や室内を明るく、被災地の夜に安全・安心を届けることができます。



災害派遣トイレネットワークとは？

仲間の自治体が被災した際、全国から駆けつけ、良質なトイレを支援し合う仕組み。



全国の自治体が1台ずつ配備し被災地に集結できたなら、災害時に深刻化するトイレ問題を大きく解消できるはず。という主旨に賛同し「みんな元気になるトイレ」を導入した自治体が参加するネットワーク。

今回の導入により、広野町が被災した際には、全国の参加自治体から支援を受けられることになります。

●参加自治体：36 ※2026年6月末予定：57

●トレーラー型：22台 + トラック型：14台 ※2025年8月末現在

災害派遣実績

■活動開始：2018年

■派遣箇所：12か所

■累積支援日数：708日

■使用者数：約54,300人

■使用回数：約108,600回

平成30年7月豪雨 | 倉敷市（2箇所）

■2018年7月10日～2019年5月20日 | 10ヵ月
■倉敷市立第二福田小学校（避難所）他1箇所



令和元年台風第15号 | 君津市（3箇所）

■2019年9月12日～10月2日 | 18日間
■君津市文化ホール（避難所）他2箇所



令和元年台風第19号 | 長野市

■2019年10月18日～12月16日 | 60日間
■長野市赤沼区公会堂（ボランティア拠点）



令和元年台風第19号 | いわき市

■2019年10月21日～11月27日 | 38日間
■いわき市立平第四小学校（現地対策事務所）



令和3年8月豪雨 | 大町町

■2021年8月20日～12月1日 | 104日間
■大町町災害ボランティアセンター



令和4年台風8号 | 松崎町

■2022年8月15日～8月29日 | 15日間
■松崎町災害ボランティアセンター・雲見グランド本部



令和5年九州北部豪雨 | 久留米市

■2023年7月16日～
■久留米市田主丸町（被災地域）



令和4年台風15号 | 静岡市

■2022年9月27日～10月27日 | 31日間
■特別養護老人ホーム有度の里



令和4年台風15号 | 静岡市

■2022年9月28日～10月3日 | 6日間
■静岡市役所清水庁舎（清水区役所）



令和5年九州北部豪雨 | 久留米市

■2023年7月16日～9月27日 | 74日間
■久留米市田主丸町（被災地域）



支援継続に必要な8つのシステムを構築。情報、給水や汲み取り、どれ一つ欠けても、翌日止まる。

1. 調整

課題：被災自治体は混乱状態
対応：ワンストップで派遣調整



8. 引継

課題：施設担当者は変わる
対応：口頭＋統一ツール掲示



2. 情報

課題：状態・状況把握
対応：先行から後続へ情報共有



配備



7. 移設

課題：被災地内での再配置
対応：事業者等による移設



3. 補給

課題：水が途絶えれば止まる
対応：補給チーム＋システム



6. 修繕

課題：破損・不具合の修理
対応：事業者による修繕巡回



5. 点検

課題：車両状態の把握
対応：被災地照会・報告の仕組み

4. 汲取

課題：満タンで止まる
対応：汲み取りチーム＋システム



ふるさと納税型クラウドファンディング | ご支援のお願い

近年、災害は頻発化・激甚化の傾向にあり、その被害は深刻さを増しています。

広野町においても、万一ではなく、明日起きる大事として防災・減災事業に取り組んでおり、この度「みんな元気になるトイレ」の導入に至りました。災害時でも、個室化され、安全で、広く、清潔なトイレを住民の皆さまに提供することが可能になります。

また導入後に参加する「災害派遣トイレネットワーク」は、全国から参加自治体が駆けつけ合う助けあいのネットワークです。

「みんな元気になるトイレ」の配備が進めば進むほど、受けられる支援が増加していく仕組みであり、広野町もネットワークの強化に寄与したいと考えており、どうか「みんな元気になるトイレ」の導入資金として、ご支援の程よろしくお願い致します。

■ ご寄付について

□ 企業・団体様のご寄付：損金算入による税控除が受けられます。

□ 個人様のご寄付：ふるさと納税ですので、実質負担2,000円での寄付となります。

① 社名・団体名・お名前を、「みんな元気になるトイレ」の背面に掲載いたします。

※ 希望者のみ

※ 役割を終える日まで（10年以上）寄付者さまの思いを背負い、イベントや被災地支援に赴きます。

② 30万円以上の寄付者さまは、データ支給を条件に商標等のデザインを掲載いたします。

③ 50万円以上の寄付者さまは、より感謝状を贈呈させていただきます。

※ 贈呈式等の形式等は、後日、ご案内いたします。

